

平成 26 年 8 月 4 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エキットジェネラルマネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト ダーウィン湾内における浚渫作業の完了について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、オーストラリアで操業主体（オペレーター）としてプロジェクトパートナーとともにイクシスLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）の開発作業を進めております。このたび、本プロジェクトの陸上ガス液化プラント（以下、LNGプラント）建設地であるオーストラリア北部準州ダーウィン近郊のダーウィン湾内において進めていた、船舶が航行するための十分な水深を確保するための浚渫作業が、計画通り完了しましたので、お知らせいたします。

このたびの浚渫作業の完了により、LNGプラントのモジュールを運搬する船舶をはじめ、生産開始後に湾内を行き来するLNG（液化天然ガス）船、LPG（液化石油ガス）船、原油タンカーの航行およびそれら船舶の停泊が可能となります。



浚渫エリア



浚渫作業の様子

2012年8月から開始された浚渫作業は、ダーウィン湾内の生態系など周辺環境への影響を最小限にとどめられるような最新の技術を用いて行い、湾内のおよそ1,600万立方メートルの土砂や岩などを取り除きました。

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

当社は、地元コミュニティの方々からのご理解とご協力を得ながら、安全第一をモットーに無事作業を終えることができ、本プロジェクトにおける重要なマイルストーンを達成したと考えております。

当社は、今後も、本プロジェクトに関係する地域コミュニティの方々、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリアの関係者やその他プロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトの成功に向けて引き続き邁進する所存です。

以上

イクシス LNG プロジェクト

イクシスLNGプロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）としてトータル社、東京ガス、大阪ガス、中部電力および東邦ガスとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNG（液化天然ガス）および年間160万トンのLPG（液化石油ガス）として生産・出荷するとともに、FPSO等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する計画です。本プロジェクトは、40年という長期にわたって稼働が見込まれる世界的にも大規模なLNGプロジェクトです。当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に最終投資決定しました。現在、2016年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。

特設サイト - イクシス LNG プロジェクト

イクシス LNG プロジェクトの詳細は、特設サイトにてご確認ください：

<http://www.inpex.co.jp/ichthys/index.html>